

いずみさの教育



問合先  
学校教育課

チームとしての学校

「チームとしての学校」という言葉をご存知でしょうか。これは、平成27年12月、国の中央教育審議会答申の中で示されました。今から約7年前のことです。

答申の中では、このような言葉が生まれた背景として、「社会や経済の変化に伴い、子どもや家庭、地域社会も変容し、生徒指導や特別支援教育等に関する課題が複雑化・多様化しており、学校や教員だけでは十分に解決することができない課題も増えている」ということが挙げられました。また、「我が国の学校や教員は、欧米諸国の学校と比較すると、多くの役割を担うことを求められているが、これには子どもに対して総合的に指導を行うという利点がある反面、役割や業務を際限なく担うことにもつながりかねないという側面がある」という問題提起もなされました。

このような状況に対応していくためには、個々の教員が個別に教育活動に取り組むのではなく、校長のリーダーシップの下、学校のマネジメントを強化し、組織として教育活動に取り組む体制を創り上げるとともに、必要な指導体制を整備することが必要です。その上で、生徒指導や支援教育などを充実していくために、学校や教員が心理や福祉などの専門家や専門スタッフ、専門機関と連携・協働・分担する体制を整備し、学校の機能を強化していくことが重要です。

本市においても、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家をはじめ、生徒指導支援員や支援教育巡回相談員、部活動指導員など、様々な専門スタッフを配置して指導体制の整備に努めています。また、まなびんぐサポーターや登下校の見守り隊など、地域のみなさんのたくさんの方の支援をうけながら、より良い「チームとしての学校」をめざしています。

7年前には想像もできなかったコロナ禍も加わり、予測困難な社会と叫ばれる昨今ですが、今こそ、学校・家庭・地域・行政が主体的に「チームとしての学校」の一員として協働し、子どもたちに「生きる力」を育めるよう、ご理解ご協力をお願いします。

学校園紹介



「楽しい活動」いっぱい  
～上之郷小学校～

感染症の状況が落ち着いてきたため、3年ぶりに「楽しい活動」が戻ってきました。

【サツマイモづくり】

2年生がサツマイモの苗植えにチャレンジしました。地域の方があらかじめ、畑の準備をしておいてくださったので、どんどん植えることができました。秋には1年生といっしょにサツマイモ掘りをしました。



【こどもフェスタ】

3年生以上の児童が、友だちを楽しませるプレイランドを企画し運営しました。それぞれのクラスが準備した遊びを、半日にわたって全校児童が楽しみました。



【コミュニティセンター見学】

昨年度からスタートしたこの学習は、新しくできたコミュニティセンターの様子を見学し、地域や市役所の人に自由に質問する学習です。地域の人の上之郷地区に寄せる熱い思いを聞き、ますます上之郷が大好きになったようです。

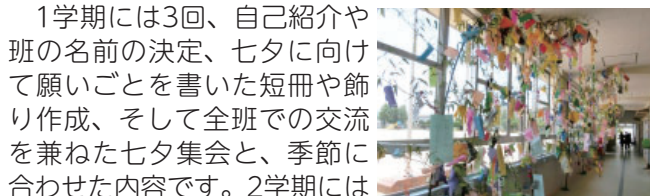


これからも「楽しい活動」を通して、学ぶことの大切さや意味を理解していきます。

たて割り班でのニコニコ活動  
～長南小学校～

本校では1年生から6年生までの学年を均等に12班に分け、異学年活動を展開しています。

1学期には3回、自己紹介や班の名前の決定、七夕に向けて願いごとを書いた短冊や飾り作成、そして全班での交流を兼ねた七夕集会和、季節に合わせた内容です。2学期には6年生の修学旅行にあわせ、全校で平和学習を共有し、みんなで折り鶴を作成するニコニコ折り鶴活動を行っています。秋はニコニコ遠足として校区内にある「南部公園」に班ごとに徒歩で出かけ、防災システムについて学んだ後、それぞれの班で考えた遊びを展開します。冬には班ごとに大縄にもチャレンジ、年度末にはこれまでのニコニコ班での感謝を込めた「お別れタイム」で6年生の卒業をお祝いし、ニコニコ班の解散となります。



年間を通し、季節感も大切にしながら1～6年生が活動するこの場は、6年生にはリーダーとしての責任感を、他学年には協力者としての参加のしかた、特に5年生には次のリーダーとしての心構えや準備の期間として、とてもよい時間となっています。社会に出ても自分で役割を考え自主的に動く力が求められます。小学生のうちにできる実践的なキャリア教育と考えています。